

# いっしょに子育て（グループ相談）

「いっしょ子育て」では、グループ相談で講師の方からお聞きしたお話しやアドバイスを分かり易く掲載します。“こんな時どうしたらいいのかな…” “これでいいのかな…” そんな気持ちを抱いた時に参考にして下さいね。

## 11/11（水）「子どものあそび」

講師：本多 ふう代さん（東北文化学園大学 医療福祉学部教授）

0歳から2歳までのお子さんをお持ちのお母さん14名が参加。作業療法の専門家を講師にお招きし、子どものあそびについてお話ししていただきました。

質疑応答の時間をたっぷりとした内容に、参加者からは「日々の悩みが、皆さんの意見や先生のお話しから解消されました。」「先生のアドバイスがありがたかったです。」「子どもの発達の時期を意識しながら、成長を見守ることが大切だなと感じました。」などの感想がありました。

### Q & A（一部抜粋）

#### 遊びが育てるもの（資料より）

- 運動能力…体作り
- 感覚と運動のつながり…バランスの良い体づくりと動き
- 手先の細かい運動…作業の基礎、生活の基礎
- 目と手のつながり…生活の基礎、学習の基礎
- 集中力…生活の基礎、学習の基礎
- コミュニケーション・社会性…人としての基礎、子ども同士の遊びは、平行遊び（時間と場所の共有のみ）から連合遊び（他の子どもと一緒に遊ぶ、役割分担はない）、協同（組織的）遊び（目的や役割分担を持っている）へと変化していきます。



**階段の上り下りが大好き。やり過ぎではないかと心配です。（3歳）**  
A. 無理にやらせているのではなく、本人がやりたくてやっているのであれば大丈夫です。

**他の子とあまり遊ばず、おもちゃでしか遊ばないのですが…（1歳）**  
A. 他の子と遊ぶには年齢的にもこれからですが、遊びを分かち合えることが大切です。相互関係が言葉を知る基礎になるので、遊んでいる時に「上手にできたね。」など言葉がけをしてあげて下さい。

#### ～本多さんからのメッセージ～

子どもとずっと一緒にいるというのは大変なことです。家のことや子どものことなどやらなければならないことがいっぱいあります。あまり一生懸命になり過ぎず、子どもの失敗を恐れずに見守ってあげて下さい。

## 12/8（火）「子どものための救命救急講座」

講師：庄子 文康さん（青葉消防署救急救命士）

11名が参加。おうちでできる応急手当のしかたや救命処置の流れ（心肺蘇生法とAEDの使い方）を教えてくださいました。実践を繰り返し「いざ」という時のために備えることができたようです。「本当に勉強になりました。」との感想が多数ありました。

### 心肺蘇生法の流れ（子どもの場合）（一部抜粋）

#### ① 反応の確認

神経が一番集中している足の裏をたたいて意識確認をします。

#### ② 119番通報とAED手配

反応がなければ、大きな声で助けを求めます。協力者が来たら「119番通報」と「AED」を要請します。

#### ③ 呼吸をみる

普段通りの呼吸があるかどうかを観察。10秒以内で胸や腹部の上がり下がりを見ます。

#### ③ 胸骨圧迫（心臓マッサージ）

胸が少なくとも4cm沈むように強く圧迫します。1分間に100回のテンポで、30回連続して絶え間なく圧迫します。乳児は2本指で、小児は両手（指を組む）または、片手でいきます。



### 救急ナビ（アプリ）（無料）

仙台市消防局では、万が一の時のために、応急手当について学べる無料のアプリ（スマートフォン）を提供しています。「119番通報」と「心肺蘇生法」の一連の流れを分かりやすくナビゲートしてくれます。仙台市内のAEDの設置場所が分かる「AEDマップ」も掲載。「救命ナビ」で検索ができます。

#### ～庄子さんからのメッセージ～

平成26年度、仙台市では救急車が到着するまで“平均8.2分”の時間を要します。何もしないで救急車を待っているだけでは、救える命も救えなくなってしまいます。自分の大切な家族や友人の命を救うためにも「応急手当」を学んでいただきたいです。